



「原発事故子ども・被災者支援法」と



「避難の権利」

6月21日で、原発事故子ども被災者支援法の成立（2012年）から丸2年です。事実上「避難の権利」を認めた同法の成立は、市民運動の成果の一つでした。

しかし、その後1年以上、具体的な施策に向けた動きは止まり、ようやく出された基本方針は骨抜きのまま閣議決定・・・。

これまでの経緯を振り返り、住宅支援、健康診断、保養など、被災者を取りまく現在の状況について考えます。



○日時： 2014年5月26日(月) 19:00~21:00

○場所： パルシステム連合会本部会議室(2F)

東京都新宿区大久保2丁目2-6 ラクアス東新宿

地下鉄各線「東新宿駅」徒歩約5分、JR山手線「新大久保駅」徒歩約10分

●プログラム(予定)

1. 「避難の権利」をもとめて
満田夏花(国際環境NGO FoE Japan)
2. 福島から岡山へ避難して
丹治泰弘(司法書士)
3. 被災者を取り組む現在の状況
白石草(Our Planet TV)
4. パルシステム連合会の取り組み
5. 今後に向けた課題
阪上武(福島老朽原発を考える会)



●資料代： 1000円(ブックレットつき)、ブックレットを持っている方は400円

※eシフトブックレットVol.5『「原発事故子ども・被災者支援法」と「避難の権利」』
合同出版 A5版 96ページ、700円(税込)

●主催・問合せ：eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会) www.e-shift.org
03-6907-7217 (FoE Japan内)

●後援：合同出版、パルシステム連合会